久留米市議会議長 様

久留米市城南町 15 番地 3 会 派 名 きずな議員団 代表者名 山田 貴生

政務活動費事業実績報告書

久留米市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定に基づき、下記の とおり報告します。

記

- 2 事業実績の概要
 - ・国内行政視察、各種研修等への参加
 - 10/27 (株)廣瀬行政研究所セミナー参加
 - 1/21~22 地方議員研究会セミナー参加
 - 1/22 (株)廣瀬行政研究所セミナー参加
 - 1/22 千葉県柏市
 - 2/16 (株)廣瀬行政研究所セミナー参加
 - ・広報費 市政報告の発行
 - ・調査研究費 交通費
 - ・事務費 タブレット通信費用、振込手数料

令和 5年12月22日

会派名 きずな議員団

代表者 山田貴生 様

きずな議員団

会派名

報告者 田住和也

期日	令和 5年10月27日
開催地	第一イン池袋「アゼリア」
参加議員名	田住 和也
研修項目	自治体の防災・減災対策と議会の役割
当該研修への 参加動機・目的	我が久留米市はここ数年の水害により、甚大な被害が発生しているため、議員として何ができるのか、どうすべきかなど、改めて学ぶ必要がある。
説明者	㈱廣瀬行政研究所 鍵屋一(跡見学園女子大学教授)
説明内容	自治体の防災・減災対策マネジメント(基礎編) 1. 近年の災害と予測される国難災害 2. 社会の脆弱性と正常化の偏見 3. 自治体の防災対策〜要配慮者支援対策を中心に〜 4. 災害時の議会、議員の役割 実例からみる防災対策における議会・議員の役割(実践編) 1. 自治体防災対策の深堀りと実例〜防災基本条例、耐震化、地区防災計画など〜 2. 避難、避難生活支援 3. 災害時の議会、議員の行動事例 4. 災害時の執行機関と議会、議員との関係 5. 議会BCPと議員の行動規範
	今回の研修では、先進事例の取り組みや考え方、課題や問題点を細かく説明されたので、多くの気付きや参考になる内容が多く、研修時間が足りなかった。 ここ学んだことを、今後の久留米市に活かせる、活かして欲しい取り組みなど、担当部 局に積極的に提案、要望していきたいと思う。
研修の成果	

令和 6年1月23日

会 派 名 きずな議員団

代表者 山田貴生 様

きずな議員団

会 派 名

報告者 田住和也

期日	令和 6年 1月21日
開 催 地	ハイネスト浜島
参加議員名	田住 和也
研修項目	人口減少対策
当該研修への 参加動機・目的	少子高齢化に伴う人口減少対策は喫緊の課題であり、それを解消するためにはどうすればいいのか
説明者	地方議員研究会 牧瀬稔(関東学院大学法学部地方創生学科教授)
説明内容	人口減少に勝ち抜く戦略 1. 勝ち残る基本戦略 2. 地域ブランド 3. シティプロモーション 人口減少と共存する方策 1. 関係人口、活動人口 2. 地域活性化 3. 公民連携
研修の成果	人口減少に歯止めがかからない我が国ではあるが、久留米市も移住定住を促進するシティプロモーションなど、減少幅を最小限に抑える取り組みを実施している。しかしながら、抜本的な改革には、至っていないの現状である。今回の研修は、様々な視点から分析され、人口減少は避けられない中、どのようにして、伸ばしていくのか、生き残っていくのかなど、気付きを得ることができた。

令和 6年 1月23日

会派名 きずな議員団

代表者 山田貴生 様

きずな議員団

会 派 名

報告者 田住和也

期日	令和 6年 1月22日
開催地	リファレンス大阪駅前第4ビル
参加議員名	田住 和也
研修項目	今こそ再確認 今のこどもの最新事例を 現場から学ぶ
当該研修への 参加動機・目的	少子高齢化が進む中、子どもたちに対する支援は必要不可欠であるため、その手法につ いて学びたい
説明者	地方議員研究会 山下真理子(MIKURU・MIRU代表)
説明内容	現場から視る家庭教育支援 1. 少子高齢化だからこそ求められる家庭教育支援 2. 子ども家庭庁における「就学前の子どもの育ち」と「こどもまんなか社会」 3. 家庭教育支援チームやチーム学校で家庭教育を支える 4. 不登校予防は引きこもり予防〜家庭教育支援事例〜 現場から視る不登校支援 1. 増加の一途をたどる現在の「不登校」とは 2. 誰一人取り残さない不登校支援とは 3. ヤングケアラーなどの様々な課題に何ができるのか 4. 保護者の声と不登校支援の実際
研修の成果	現場の視点からの支援(家庭教育、不登校)は、私たちからの視点とは違うところもあり、大変参考になった。今後も、未来を担う子どもたちのため、ハード面、ソフト面のサポートをしっかり頑張っていきたい。

令和 6年1月24日

会派名 きずな議員団

代表者 山田貴生 様

きずな議員団

会 派 名

報告者 山田貴生

期日	令和 6年1月22日
開 催 地	東京都豊島区 第一イン池袋「アゼリア」
参加議員名	山田 貴生
研修項目	一人でも行政を動かす一般質問の組み立て方
当該研修への 参加動機・目的	改めて一般質問に対する考え方、また、他議会での一般質問の考え方、工夫を聞き、今後の議会活動への参考とするため。
説明者	(㈱廣瀬行政研究所 小田理恵子(一般社団法人官民共創未来コンソーシアム代表理事)
説明内容	一人でも行政を動かす一般質問の組み立て方 1, 一般質問の位置づけ 2, 行政を動かすために必要な要素 3, 味方を増やす 4, 政策実現までのストーリー作り 5, 一般質問を終えてからが勝負
研修の成果	今回の研修では、川崎市議会議員の中で少数の立場でありながら、行政とどのように やり取りを行っていたか。一般質問を活用しながら周りを巻き込み、自分の実現 したい政策を実現するために、どのような手法を行っていたかを詳細に教えて頂いた。 今現在、自分が行っている一般質問の位置づけを再考するきっかけにもなり、 今後の議員活動の参考にし、活用していきたい。

視察報告書

令和 6年1月24日

会 派 名 きずな議員団

代表者 山田貴生 様

きずな議員団

会派名

報告者 山田貴生

政務活動のため視察調査を実施したので、その概要を報告いたします。

期日	令和 6年1月22日
視察地	千葉県柏市 柏駅
参加議員名	山田 貴生
視察項目	ストリートミュージシャン登録制度について
視察の目的	久留米市において、音楽を活用した賑わい作りを行っている。柏市では、ストリート ミュージシャンと共に賑わい作りを行っている。制度を参考にしながら、久留米市でも 活用出来ることを調査。
当該視察地を選定した理由	千葉県柏市は、以前よりストリートミュージシャンより有名音楽家を輩出しており、ストリートミュージシャンの聖地として有名。また、その仕組みは行政丸抱えではなく、民間との共同で成り立っている。他都市は行政主導であるが、民間活力を活用している部分で柏市を選択した。
説明者	五十嵐 泰正 (音楽の街かしわ実行委員会/ストリートブレイカーズ代表)
説明内容	 ストリートブレイカーズの成り立ち 組織運営 行政とのかかわり 問題点 課題 今後の活動について
視察の成果と 久留米市へ 期待される効果	ストリートプレイカーズの成り立ち、運営において、民間の力が大きく作用している。 立上げ当初問題になっていた、音、スペース、ルールの無いやりたい放題の状況から今 ではルールに従って秩序の中で音楽を楽しめるような状況を作り上げている。また、 ミュージシャンにとっても腕を磨いて大きな祭りに出られるようなステップも準備され ており、日本全国から登録申請が来ている。久留米において、ストリートミュージシャ ンの問題は出てきていないと思われるが、民間活力、音楽の活用、若手ミュージシャン 育成、運営する組織人材の育成、街の賑わいづくり、柏市の宣伝効果等、様々な部分で 参考に出来、その手法を活用していくべきである。

視察報告書

令和 6年1月24日

会派名 きずな議員団

代表者 山田貴生 様

きずな議員団

会 派 名

報告者 山田貴生

政務活動のため視察調査を実施したので、その概要を報告いたします。

期日	令和 6年1月22日
視察地	千葉県柏市 パレット柏 3階(柏市柏1-7-1-301)
参加議員名	山田 貴生
視察項目	ストリートミュージシャン登録制度について
視察の目的	久留米市において、音楽を活用した賑わい作りを行っている。柏市では、ストリートミュージシャンと共に賑わい作りを行っている。制度を参考にしながら、久留米市でも活用出来ることを調査。
当該視察地を選定した理由	千葉県柏市は、以前よりストリートミュージシャンより有名音楽家を輩出しており、ストリートミュージシャンの聖地として有名。また、その仕組みは行政丸抱えではなく、 民間との共同で成り立っている。他都市は行政主導であるが、民間活力を活用している 部分で柏市を選択した。
説明者	石戸 則利(柏市都市部 中心市街地整備課 課長) 三上 俊臣(同主幹) 阿部 涼乃
説明内容	 ストリートブレイカーズの成り立ち 組織運営 行政とのかかわり 問題点 課題 今後の活動について
視察の成果と 久留米市へ 期待される効果	ストリートプレイカーズの成り立ち、運営において、民間の力が大きく作用している。 立上げ当初問題になっていた、音、スペース、ルールの無いやりたい放題の状況から今 ではルールに従って秩序の中で音楽を楽しめるような状況を作り上げている。また、 ミュージシャンにとっても腕を磨いて大きな祭りに出られるようなステップも準備され ており、日本全国から登録申請が来ている。久留米において、ストリートミュージシャンの問題は出てきていないと思われるが、民間活力、音楽の活用、若手ミュージシャン 育成、運営する組織人材の育成、街の賑わいづくり、柏市の宣伝効果等、様々な部分で 参考に出来、その手法を活用していくべきである。

令和 6年 2月19日

会 派 名 きずな議員団

代表者 山田貴生 様

会派名 きずな議員団

報告者 田住和也

Γ	<u> </u>
期日	令和 6年 2月16日
開催地	北農健保会館
参加議員名	田住 和也 ・ 古賀 としかず
研修項目	予算書を理解するための基礎知識
当該研修への 参加動機・目的	令和6年度予算審議の前に基礎知識を学び、理解すること
 説明者 	
説明内容	予算における基礎知識〜予算書を理解する〜 1. 予算とは 2. 予算の構成内容 3. 歳入の費目を理解する 4. 歳出の費目を理解する 5. 地方交付税等の算定方式
研修の成果	予算書を理解するため、改めて、基礎知識を学ぶことができた。完璧に理解するには、時間が足りなかったが、歳入及び歳出の費目についてや、地方交付税等の算定方式についてなど、通常、執行部より説明を受ける機会が少ないため、大変勉強になった。